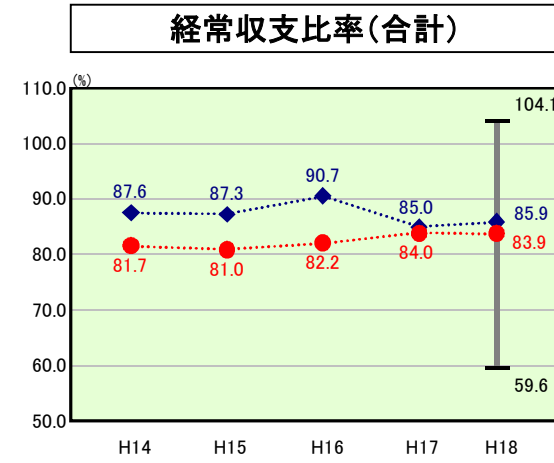


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

愛知県 瀬戸市

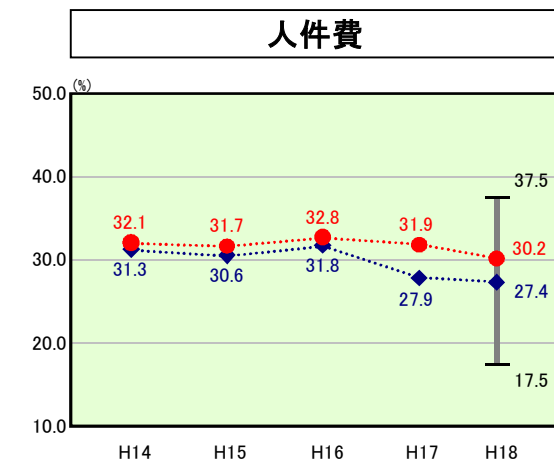
経常収支比率の分析



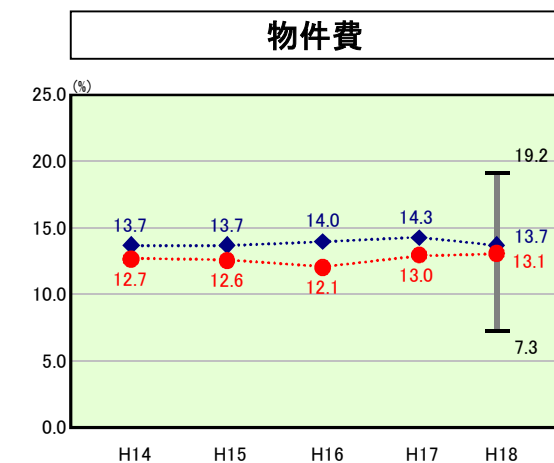
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 L

人口 128,651人(H19.3.31現在)
面積 111.62km²
歳入総額 30,737,841千円
歳出総額 29,278,365千円

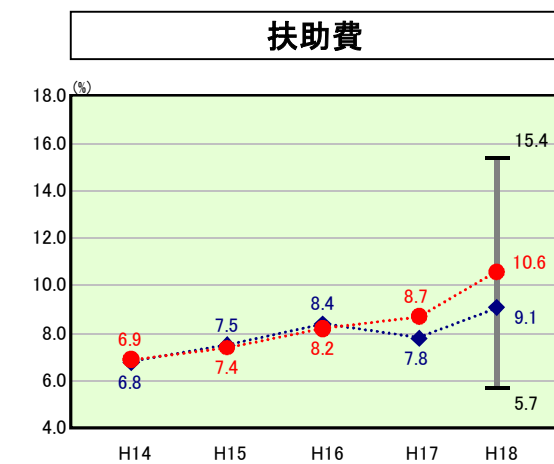
H18類似団体内順位 9/19
全国市町村平均 90.3
愛知県市町村平均 83.5



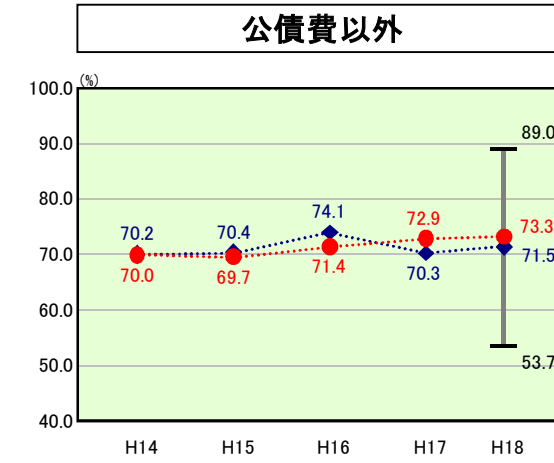
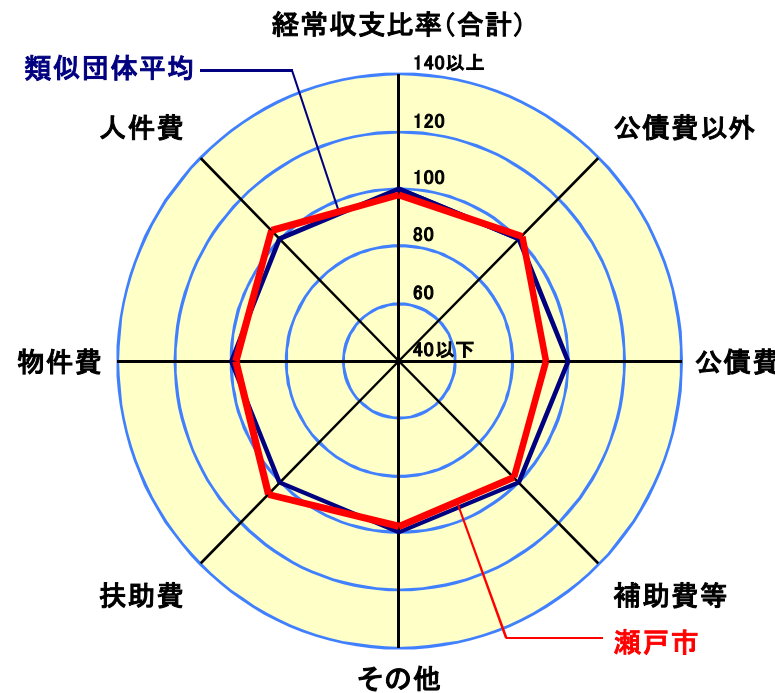
H18類似団体内順位 12/19
全国市町村平均 28.2
愛知県市町村平均 25.1



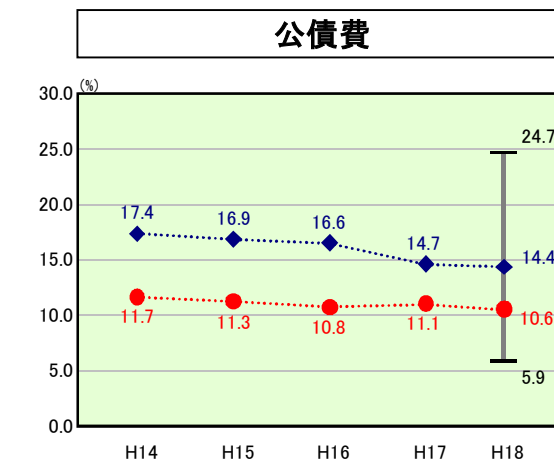
H18類似団体内順位 8/19
全国市町村平均 12.9
愛知県市町村平均 13.9



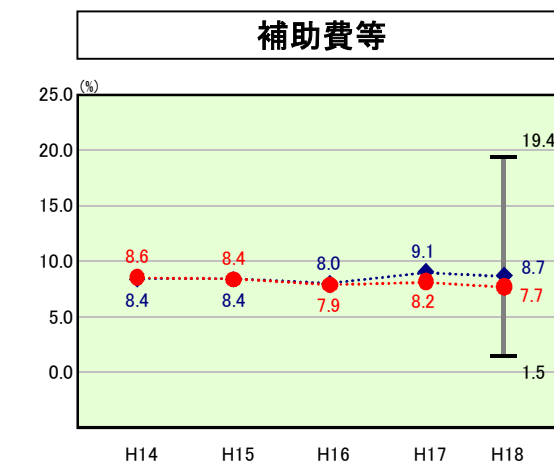
H18類似団体内順位 15/19
全国市町村平均 8.6
愛知県市町村平均 9.0



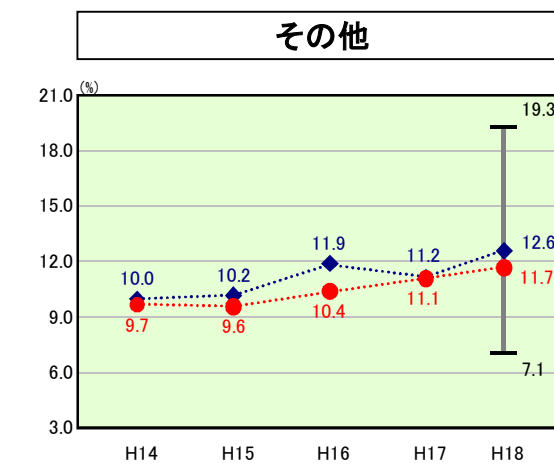
H18類似団体内順位 11/19
全国市町村平均 70.5
愛知県市町村平均 69.1



H18類似団体内順位 4/19
全国市町村平均 19.8
愛知県市町村平均 14.4



H18類似団体内順位 8/19
全国市町村平均 10.2
愛知県市町村平均 12.6



H18類似団体内順位 9/19
全国市町村平均 10.6
愛知県市町村平均 8.5

- ※1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- ※2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- ※3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

経常収支比率は、グラフのとおりほぼ横ばいに推移している。少子化・高齢化に対応するため、福祉事業や福祉医療費といった扶助費が増加する中、借入額の抑制、人員の削減により、平成17年度に比べ0.1%改善した。

【人件費・人件費及び人件費に準ずる費用の分析】
積極的な事務事業の見直し、民間委託の推進等により、減少傾向にある。

【扶助費】
少子化・高齢化に対するための福祉事業や福祉医療等の扶助費が増加を続けている。今後は、個々の制度・事業の効果や必要性を十分に吟味し見直し等を行い適正化に努める。

【公債費・公債費及び公債費に準ずる費用分析】
新規借入額をその年度の償還元金を下回る額とし、地方債残高を減少させたことにより、低く推移している。

【普通建設事業費の分析】
愛・地球博(平成16年度末開幕)を市の活性化に結びつけるべく、瀬戸蔵建設や尾張瀬戸駅周辺整備事業等、市民の活動拠点(ハード)を整備するまちづくりを集中的に推進した。その後は、これらのハードを生かしたソフト事業や安全安心を始めとする日常生活重視の施策にシフトした結果、平成16年度をピークに大きく減少に転じている。